

# 神指城の石垣を運んだ石引道



神指城の石垣は、会津若松市東山町慶山の石切山から石引道で運ばれています。東山町と神指町に幅約2メートルの「石引道」が残されています。石は、「修羅」と呼ぶ木製ソリで挽きながら運ばれています。東山町慶山から八角神社北側、北小路と七日町を通り、橋本の南から、柳の木で湯川に架けられた柳橋を渡り、本丸まで運ばれています。「新編会津風土記」七日町では、耶麻郡の奉行、満願寺（材木奉行）仙右衛門が柿色の手拭きを鉢巻し、運搬の激励をしています。

